

平成 28 年度第 2 回野田市総合教育会議会議録

- ◇日 時 平成 28 年 11 月 16 日（水）午後 4 時開会 午後 4 時 20 分閉会
- ◇場 所 野田市市役所 本庁舎 低層棟 4 階 委員会室
- ◇出席者 鈴木有市長 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員
飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 伊藤公夫生涯学習部次長（兼）社会教育課長 中村利夫
教育総務課長 横島司社会体育課長 上原定夫青少年課長 寺田幸生興風図書館
長 長谷川昌男学校教育部長 桑原辰夫学校教育部次長（兼）指導課長 長妻美
孝学校教育部参事（兼）学校教育課長
- ◇書 記 小関秀章教育総務課長補佐（兼）財務係長

◇議事日程

- (1) 開 会
- (2) 市長挨拶
- (3) 教育長挨拶
- (4) 会議事項
平成 29 年度予算について（意見交換）
- (5) その他
- (6) 閉 会

<中村教育総務課長>

本日はお忙しい中ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

本日、司会を務めさせていただきます教育総務課の中村です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の会議資料は、会議次第1点となります。

資料に不備等がございましたらお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

本日の会議につきまして申し上げます。

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により、個人の秘密を保つため必要があると認めるとき、又は会議の公正が害されるおそれがあると認めるとき、その他公益上必要があると認められるときを除いては、公開することとしております。

したがって、公開することが原則でありますので、市民の皆様に周知するため、市ホームページに開催予定を掲載いたしております。会議の傍聴は、会議資料をご覧いただきながら行い、傍聴できる人数は先着15名とさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

また、本日の会議は、議事録作成のため録音機を使用させていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願いいたします。

会議資料及び議事録は、市役所及び関係支所の行政資料コーナーに配置し閲覧できるようにしますとともに、ホームページ上で公開しますので、よろしくお願い申し上げます。

では、ここで出席者についてご報告いたします。

本日の会議に出席されているのは、鈴木市長、東條教育長、高橋教育委員、伊藤教育委員、飯田教育委員、永瀬教育委員でございます。

現時点で傍聴の申込みはございませんが、会議の途中で傍聴希望があった場合には入室いただくこととなりますので、ご了承ください。

では、これより平成28年度第2回野田市総合教育会議を開会いたします。

初めに、野田市長、鈴木有よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

<鈴木市長>

皆さん、こんにちは。

本日は、平成28年度第2回の総合教育会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。8月24日に開催した第1回目の総合教育会議では、平成28年度の教育施策の取組について、教育委員の皆様からご意見をいただきました。今回は、平成29年度予算について、教育委員の皆様からご意見、ご質問をいただき、意見交換ができればと考えております。

私が所信表明で申し上げたすぐに取り組みたい2つの施策のうち、子供たちの郷土愛を育み、子供たちの意見を市政に反映させていくための市内小中学生のアンケートにつきましては、教育委員会のご協力をいただき、来年1月に実施する予定でございます。

もう一つのスポーツ振興につきましては、限られた予算の中で何ができるか検討しているところでございます。

現在、平成29年度予算編成を進めているところでございますが、極めて厳しい予算編成になることが避けられない状況であり、限られた予算を有効活用するとともに、全庁を挙げた経費削減と財源確保に取り組んでいく必要があります。

引き続き、小学校及び幼稚園へのエアコン設置、トイレ洋式化などを進めてまいります。が、来年度予算について、教育委員の皆様には忌憚のないご意見を述べていただきたいと

考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

<中村教育総務課長>

ありがとうございました。

続きまして、野田市教育委員会教育長、東條三枝子よりご挨拶申し上げます。

<東條教育長>

改めまして、皆様、こんにちは。

今回の会議では、平成29年度予算について市長さんと意見交換ができるということで、大変に有り難いというふうに考えております。

本年度は、中学校にエアコンが設置されまして、来年度は、小学校及び幼稚園にエアコンが設置される予定となっております。学校トイレの洋式化につきましても、計画に基づく整備のほか、本年度は、学校施設整備等基金を活用いたしまして、計画を前倒して二川中学校のトイレ改修が進められております。

先ほど市長さんからお話がございましたように、平成29年度予算編成は非常に厳しいものになると考えております。教育委員会といたしましても、経費削減、そして事務事業の効率化に努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

<中村教育総務課長>

ありがとうございました。

それでは、これより会議事項に入ります。

当会議の議長は、野田市総合教育会議運営要項第2条第1項に基づき、市長にお願いいたします。

お願いいたします。

<議長：鈴木市長>

それでは、会議事項に入らせていただきます。

平成29年度予算についてのお考えなどをお聞かせいただけたらと考えております。

まずは、高橋委員の方からお願いしたいと思います。

<高橋委員>

よろしくお願ひ申し上げます。

私の自宅の近くにある学校、時々放課後等目にするわけですが、平日でも大変遅くまで職員室に明かりがついているのが実態でございます。

教職員の勤務の実態として、時間外勤務も多くなっているというふうに聞いておりますし、また、授業時間の増加や保護者のニーズの多様化により、教職員の多忙化は増しているというふうにも聞いております。また、若手の教職員の指導力の向上ということで、ベテランの先生、中堅の先生方のお取組の時間も必須になっていると。取り組むというよりも、指導の時間が必須になっているというふうにも聞いております。

そういうことで、事務量が非常に多くなっているという実態があるというふうにも聞いておりますので、是非、教職員の事務負担を軽減し、子供たちに正面からぶつかっていき、そういう時間を確保していただけますよう、ご支援いただければ有り難いなというふうに思うところでございます。

そういう点で、市長さんのご意見をお伺いできればというふうに思っております。よろしくお願ひいたします。

<議長：鈴木市長>

教職員の多忙化の現状につきましては、承知しております。私も、先生方には、まず子供たちとの触れ合いを大切にいただき、先生と子供たちが様々な活動を共に行ってい

く中で、社会性や生きる力を身に付け、自分で考え行動できる子供たちに育ってほしいと考えております。そのためには、先生方の事務量を減らし、子供たちと真正面から触れ合えるための方策が必要であると考えております。

なかなか厳しい財政状況がありますが、今後検討して、先生方の多忙化解消には力を注いでいきたいと考えております。

以上です。

<高橋委員>

ありがとうございます。

<議長：鈴木市長>

次に、伊藤委員にお願いをいたします。

<伊藤委員>

よろしく申し上げます。

私は、今大学で仕事をしているわけですがけれども、昔の私が学生だった頃の様々な授業の出席管理ですとか、そういう、昔出席カードとか配っていた時代と、今うちの大学は幾つかキャンパスがあるわけですがけれども、クラスシステムというのがありまして、どこのキャンパスに行きましても、教員が学生の履修状況、出席、その他、全てカードタッチで学生の出席が管理されていまして、また、学生がどういう科目を落としている、どういう成績をとっているかも全て、神楽坂、あるいは野田、あるいは葛飾、その他の幾つか分校のような、諏訪ですとか山口にもあるわけですがけれども、どこのキャンパスに行っても、そのシステムが共通のもので、大変仕事がしやすいというふうな状況が、ここ急速に5年、10年の間に、そういう大学自体の教育管理システムみたいなものが構築されているんですけれども、野田市においても、その児童生徒の学習状況あるいは学習支援のそういう帳簿の一元化に関する校務支援システムのようなものが導入できないかと。

特に東葛地区で考えてみますと、まだ野田市がその導入をされていないと聞いておりますので、できればこの子供の教育学習支援はもちろんですけれども、先生方のそういう事務的な負担量の軽減ですか、それから、先生にとっての業務の一つの指導要録の記入ですとか、学校の勤務先が変わったために、それぞれ学校独自の記入事務というのが、野田市内で統一されることによって、事務負担量が軽減されるということも考えられますので、できましたらそういうシステムの導入を考えていただければというふうに思います。

以上です。

<議長：鈴木市長>

ありがとうございます。

校務支援システムの導入につきましては、私が市長になり、各部局等の課題についてヒアリングする中で、教育委員会から要望として上がってきております。この件につきましても、財政と相談をしながらになりますが、校務支援システム導入によりどの程度の負担軽減が図れるか等の効果を総合的に判断しながら検討していきたい、そのように考えております。

以上です。

<伊藤委員>

どうもありがとうございました。

<議長：鈴木市長>

次に、飯田委員にお願いをいたします。

<飯田委員>

よろしくお願いします。

市長さん、冒頭のご挨拶の中で、小学校、幼稚園等へのエアコンの設置、それからトイレの洋式化について進めていただけたというようなお話をいただきましたかと思いますが、小学校でも中学校でも、子供さんたちが快適に心地よく学校生活ができるように、そういう点において、やはりトイレの洋式化というのは、特に女性の方がなかなか思うように進んでいないということもあるようでございます。是非その辺りですとか、進めていただければ有り難いなと思っております。

以上でございます。

<議長：鈴木市長>

ありがとうございます。

昨日、テレビでやっていたんですね、学校のトイレ洋式化が遅れているということで。この洋式化につきましては、平成15年度から実施計画に基づいて実施しておりますが、委員ご指摘のとおり女子トイレの洋式化率が低いという課題がございます。31年度までの現計画を、昨年の10月から導入したふるさと納税による学校施設整備等基金を活用するなどして早期に完了させるとともに、女子トイレの洋式化については、予算の範囲内で少しでも多く洋式化を進めていきたい、そのように考えております。

以上でございます。

次に、永瀬委員の方からお願いをいたします。

<永瀬委員>

よろしくお願いします。

私は、スポーツ振興について意見を申し上げさせていただきます。

市長が所信表明された際に、人間力を向上させるためにスポーツを振興すると言われたと聞いております。私も仕事柄、スポーツは体力の向上とか人格の形成のみならず、やはり健康づくりにも寄与するものであると思っておりますし、あと、スポーツにより、とにかく地域交流、また地域づくりが進むという効果も期待しております。

このようなことから、スポーツ振興のための予算上の配慮や、子供から大人までスポーツに取り組めるような環境整備についてご尽力をお願いしたいと考えております。

<議長：鈴木市長>

ありがとうございます。

このスポーツにつきましては、私の重点施策の一つでもありますし、何よりスポーツというのは、今先生がおっしゃったように人格の形成と、また、地域の交流が進むというところもありますし、その中で、やっぱりスポーツを取り巻く、また、その周りの人たちを見たときに、人を変えることができる、また、地域を変えることができるということで、非常にスポーツの盛り上がりによって変えることができるというのは、非常に多いというふうに私も思っております。

皆さんからのご意見をいただいたもの全部、財政状況でやれるかどうかという話ですけども、なかなか広範囲に渡るものですから、その中で何とか頑張っていきたいというふうに思っております。

職員の皆さんにも知恵を出し合ってもらい、最大限に取り組んでいきたいとは思っておりますので、子供からお年寄りまでがスポーツに親しめる、また、取り組める環境整備、市長としてリーダーシップを発揮したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

他にご意見、ご質問等ございましたらお願いをいたします。

今、学校の施設というのを、災害のときにもそうだし、いろんな地域のイベント、行事等でも非常に多く使われているというところで、やっぱり地域の拠点というかコミュニティの場として、本当に幅広く使われているというふうに思っています。

そういう点でも、学校施設をきちんと整備しなくちゃいけないというのは、重々承知をしておりますので、正直な話、できることならば、教育の方に全部お金を使いたいんですけども、なかなか財政状況はきついもの、実際の話、今先生方からお話があったことの中でも、やはり地域も含めて町全体を、これからの町を考えたときに、やっぱり子供たちに対する投資といいますか、その環境の整備をしてあげないといけないのかなと、これは自分たちが責任持ってやらなきゃいけないことだと思っているんです。

野田市の場合、土曜日授業を今、隔週でやっていますけれども、本来義務教育というのは国が責任持ってやらなきゃいけないことであって、この土曜日授業についても、各市が本来やるべきじゃないかなというふうには思っているんですが、これについては賛否両論ありますけれども、野田市の現状はそういう形で進めているわけですから、もう少し国の方にもきちっとした形で働きかけをさせてもらって、責任持ってくださいよと、ただやってもいいよというだけじゃなく、それに対する、やっぱり担保もいただいて、子供たちに対する投資というのはもっときちっとした形で出していけないのかなと思っていますので、それに付随する施設だとか教育システム等を含めて、できるだけ重点的に考えていますので、よろしくお願いいいたします。

それでは、他にないようですので、教育委員の皆様には大変ありがとうございました。皆さんの教育に対する熱意が十分伝わってきました。冒頭でも申し上げましたとおり、29年度の予算編成につきましては非常に厳しいものになりますが、いただいたご意見は予算編成の参考にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

本日の会議事項につきましては、以上で終了させていただきます。

次に、その他になりますが、事務局から次回の日程等についてお願いいいたします。

教育総務課長。

<中村教育総務課長>

今年度の定例的な総合教育会議は、これで終了となります。

来年度につきましては、4月から5月にかけて、第1回目の総合教育会議を開催したいと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。

以上でございます。

<議長：鈴木市長>

それでは、これをもちまして第2回の総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。